



「新入生の門出を祝し、チーム医療の未来を想う」

公益社団法人鹿児島県臨床工学技士会理事長 / 社会医療法人 白光会 白石病院 |

岡村 龍也



鹿児島市医師会の先生方におかれましては、日頃より私も鹿児島県臨床工学技士会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より深く感謝申し上げます。また、地域の医療・福祉の発展と、安心、安全な医療体制の維持にご尽力いただいておりますことに、重ねて敬意を表します。

さて、満開の桜が新入生を迎える良き日、私はすみれ学園鹿児島天文館メディカルカレッジの入学式に列席いたしました。式典では、鹿児島県臨床検査技師会の有村会長と来賓席をご一緒させていただき、未来の医療を担う若者たちの門出をともに祝福できましたことは、私にとっても大きな喜びであり、大変心強い時間でした。

会場に満ちる心地よい緊張感の中、真新しいスーツに身を包んだ新入生たちの真っ直ぐな眼差しを見つめていると、約30年前、私自身が臨床工学技士への第一歩を踏み出した日の初心が鮮やかに蘇ってまいりました。

祝辞の壇上からは、新入生へ心からの祝意を伝えるとともに、未来の臨床工学技士像やチーム医療の心得を語らせていただきました。深刻な少子化が進み、学生確保が極めて困難な現代において、同校の臨床工学科・臨床検査学科ともに定員満数の新入生を迎えたことは、まさに内田校長をはじめとする教職員の皆様の教育熱意が実を結んだ結果であると確信しております。同時に両職種が、これからの医療現場にいかに求められ、社会から熱い期待を寄せられているかという証であると強く感じた次第です。

現代の医療において、チーム医療の重要性は言うまでもありません。医師をはじめ、看護師や薬剤師、そして、われわれ医療従事者がそれぞれの専門性を最大限に発揮し、強固に結びつくことこそが、安全で質の高い医療の提供に繋がります。特に、医師の働き方改革が推進される昨今、われわれ臨床工学技士へのタスク・シフト／シェアに対する期待は一段と高まっており、チーム医療の一員として、その責務を果たすことが強く求められていると実感しております。

現在、医療技術の進歩は目覚ましく、生命維持管理装置の高度化やAI・DXの普及に伴い、医学と工学の架け橋となる臨床工学技士の専門性は年々高まっています。新入生たちには、厳しい学びの日々を恐れず、高度医療の未来を支えるという自覚と誇りを持ってほしいと心から願っています。ま

た、学生時代から学科の枠を越えて切磋琢磨し、将来にわたる強固な信頼関係を築いてくれることを期待しています。

最後に、私たち職能団体は、将来ともに医療を支える学生たちのために、支援と育成を続ける存在でありたいと考えております。医師会の先生方におかれましても、未来の医療を担う若き卵たちを時に厳しく、時に温かく見守り、育みへのご助力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、先生方ならびに関係各位の今後ますますのご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。



有村会長との記念撮影



入学式の様子